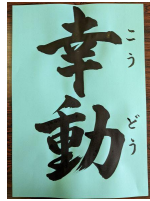


南っ子



令和7年度学校だより 6月号
6月30日発行
延岡市立南小学校 No6
文責：校長 甲 斐 憲 一

田植え（5年生）！

5年生が6月23日（月）に田植えを行いました。小雨の降る日でしたが、塩浜町のふれあいの里近くにお借りした田んぼまで徒歩で向かい、地域の皆さんの支援を受けながら、手植え（田植え）にチャレンジしました。初めて田んぼに入る児童もいて「キャー、キャー」と叫んでいましたが、すぐに慣れて各学級一列になって、田引きロープの赤い球のところに苗を丁寧に植えていきました。苗を5本程度とって植えるようにと指導を受けても10本くらいとか、逆に1本だけ植えたりと、なかなかうまくいかないこともありましたが、みんな楽しそうに植えているのが印象的でした。

しかし、子どもたちは茶碗1杯のお米を収穫する場合、田んぼの稲は何株くらい必要なのか知っているのかな？ ネットで調べると、稲の1株には穂が約22本、1つの穂には粳（もみ）が70粒ぐらいついているそうなので、稲1株には70粒×22本＝1,540粒がついている計算になります。お茶碗一杯分は3300粒くらいということなので、お茶碗一杯分のお米には稲2株が必要ということになります。数字的にも大変ですが、お米作りは苗作り、土壌作り、田植え、除草、水の管理、稲刈り、脱穀、精米など、年間を通して様々な動きがあり、本当に大変です。少しでもその苦労を理解し、日本伝統のお米作りの大切さや食糧としての重要性について感じてほしいと思います。



【一列に並んで田植えをしている5年生】



【上手に植える5年生】

楽しい水あそび！

1年生が楽しそうに「水遊び」を行っていました。水の中を「かにさん」になって歩いている1年生の表情はとても楽しそうでした。コロナ禍で泳げない児童の数が増えている状況ですが、低学年では「水の中を移動する運動遊び」や「もぐる・浮く運動遊び」を行いながら水中での基本的な動きを身につけさせ、水に対する恐怖心を減らし、水遊びが大好きになるような楽しい授業を目指していきます。



【かに歩きをする1年生】

あいさつがGOOD！

朝、子どもたちの安全見守りを行っていますが、子どもたちのあいさつがどんどん良くなっています。横断歩道でもしっかり手をあげて渡る児童も増えてきました。とても良いことだと思います。あいさつは人と人を結ぶ重要なものです。社会に出ても必要なことですので、小さいうちからしっかりと躰けて、自然にあいさつができるようになるといいですね。